

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山形県 高畠町

自治体名：山形県東置賜郡高畠町

担当課名：教育総務課・社会教育課

電話番号：0238-52-3054

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	180.26km ²
人口	21000人
公立中学校数	1校
公立中学校生徒数	581人
部活動数 (運動部活動のみ)	24部活
地域クラブ活動数	13クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	地域クラブ活動検討委員会を令和5年度から2年間設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済 地域クラブ規則 各クラブ細則 策定中 クラブ運営マニュアル

地域連携・地域展開における高富町の現状・課題

【現状】

高富町は、部活動改革の地域の受け皿として全国的に期待されている「総合型地域スポーツクラブ」が存在していない。大きなスポーツ団体としては一般社団法人高富町スポーツ協会が存在しており、町スポーツ施設の指定管理や、スポーツ少年団の事務局を兼ねている。これからの部活動改革に大きく関わってくるものと考えているが、現時点では、高富町教育委員会の教育総務課、社会教育課が事務局の役割を担っている。

町内に4校あった中学校は平成28年度に統合し高富中学校として開校。生徒数は600人弱と大規模であるが、年々減少傾向にある。グラウンドは全天候型のトラックと人工芝等を備え、部活動にも力を入れて取り組んでおり、地域展開後の活動拠点として期待される。

令和5年度からは学校部活動を完全に任意加入へと移行した。現時点で部活動に未加入の生徒は約100名(以下、校外活動班)であり、校外活動班の中で、外部のク

ラブ等に所属していない生徒は約40名である。

令和5年度に地域クラブ活動検討委員会を設置し、2年間の会議を経て方向性を定め、令和8年度には「原則休日の部活動は行わない」ことを目標として設定した。

その実現に向けて、令和7年度は地域展開への移行期間ととらえ、秋以降、準備が整った種目から、休日は部活動をではなく高富町地域クラブ「T-S.P.E.C」としての活動を行っている。

【課題】

- ①現在、教育総務課が本部を担っているが、今後の運営母体をどこにしていこうかということ。
- ②町としての自己財源の確保の具体的方策の検討
- ③今後予想される「スポーツに対する受益者負担」の認識を広めていくこと。
- ④継続した指導者の確保
- ⑤中学校部活動との継続した連携

令和7年度 高富中学校部活動 加入状況

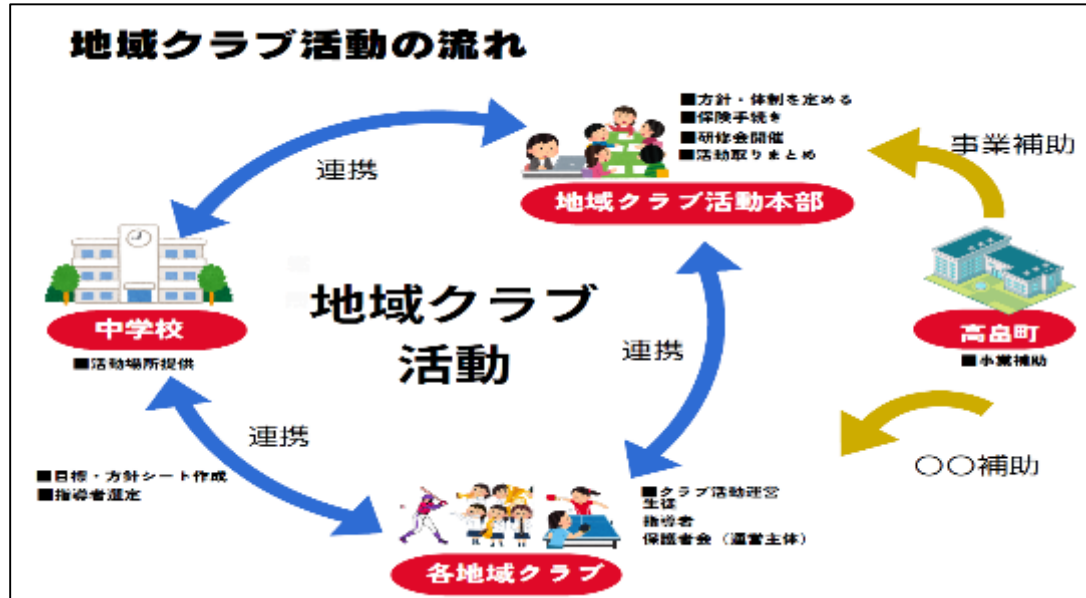
部活動未加入
(校外活動班)
約100名

部活動	人数	部活動	人数	部活動	人数
野球	30	バス男子	28	柔道男子	16
ソフトボール	18	バス女子	14	柔道女子	14
サッカー	32	バレー男子	13	剣道男子	14
ソフトテニス男子	20	バレー女子	22	剣道女子	27
ソフトテニス女子	23	バドミントン男子	31	吹奏楽	48
ホッケー女子	8	バドミントン女子	27	美術	12
陸上男子	48	卓球男子	17	総合文化	20
陸上女子		卓球女子	14	農業生産	

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（教育総務課・地域クラブ事務局）

- ・地域クラブ全体の運営、学校・指導者・クラブ間の連絡調整、事務的業務全般
- ・指導者委嘱式、指導者講習会、保護者説明会等、指導者研修会の企画運営等
- ・地域クラブコーディネーター

◎教育委員会（社会教育課・地域クラブ事務局）

- ・町内スポーツ団体（スポーツ協会・スポーツ少年団等）との連絡調整
- ・町内体育施設の使用調整、減免申請手続き等

◎町企画課（情報戦略係）

- ・町内体育施設のスマートロックシステムの構築・運営

年間の事業スケジュール

- 令和7年5月 ○高島中学校部活動代表者、指導者による合同会議で説明、意見交換
- 令和7年6月 ○高島中学校1・2年生対象に高島町地域クラブに関する説明会実施
○高島中学校保護者説明会にて説明と意見交換
- 令和7年9月 ○クラブ立ち上げ種目を対象に指導者委嘱式並びに説明会を実施
- 令和7年11月 ○第1回町指導者研修会兼トレーニング講習会開催
- 令和7年12月 ○高島中学校新入生説明会において、小学6年生と保護者に地域クラブに関する説明
○指導者ミーティング実施
○町スポーツ協会・町スポーツ推進委員への説明
- 令和8年1月 ○第2回指導者研修会開催
- 令和8年2月 ○クラブ代表者会において今年度の反省、次年度へ向けた課題確認や方向性の検討会議を実施

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		T-S.P.E.C(高島町地域クラブ)	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	13クラブ（14部活動）	
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数	0クラブ	
全体の指導者数	約35人	全体の運営スタッフ数	約5人

②各地域クラブ活動に関すること

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
高島町野球クラブ	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	軟式野球	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 5名 2年 16名	9月~	2人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中体連：部活動 その他：地域クラブ
高島町ソフトボールクラブ	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	ソフトボール	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 8名 2年 5名	9月~	3人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中体連：部活動 その他：地域クラブ
高島町サッカークラブ	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	サッカー	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 10名 2年 9名	12月~	2人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中体連：部活動 その他：地域クラブ
高島町男子ソフトテニスクラブ	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	ソフトテニス	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 4名 2年 6名	12月~	1人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中体連：部活動 その他：地域クラブ
高島町女子ソフトテニスクラブ	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	ソフトテニス	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 3名 2年 15名	9月~	3人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中体連：部活動 その他：地域クラブ
高島町男子バレーボールクラブ	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	バレーボール	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 2名 2年 6名	10月~	4人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

②各地域クラブ活動に関すること

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
高島町女子バレーボールクラブ	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	バレーボール	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 8名 2年 8名	1月~	1人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中体連：部活動 その他：地域クラブ
高島町バドミントンクラブ	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	バドミントン	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 26名 2年 15名	9月~	8人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中体連：部活動 その他：地域クラブ
高島町卓球クラブ	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	卓球	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 4名 2年 16名	12月~	3人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中体連：部活動 その他：地域クラブ
高島町剣道クラブ	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	剣道	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 2名 2年 8名	9月~	5人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中体連：部活動 その他：地域クラブ
高島町男子バスケットボールクラブ	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	バスケットボール	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 名 2年 名	3月~	2人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中体連：部活動 その他：地域クラブ
高島町女子バスケットボール	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	バスケットボール	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 名 2年 名	3月~	2人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中体連：部活動 その他：地域クラブ
高島町吹奏楽クラブ	高島町地域クラブ「T-S.P.E.C」	吹奏楽	・休日 1回	9:00~ 12:00	1年 名 2年 名	3月~	2人	保護者会にて運営	なし ※中学校保護者会費は別途集金	中文連：部活動 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

・11月28日(土) 指導者研修会 兼 トレーニング講習会 において『リズムトレーニング』に地域クラブの生徒が 約120名参加

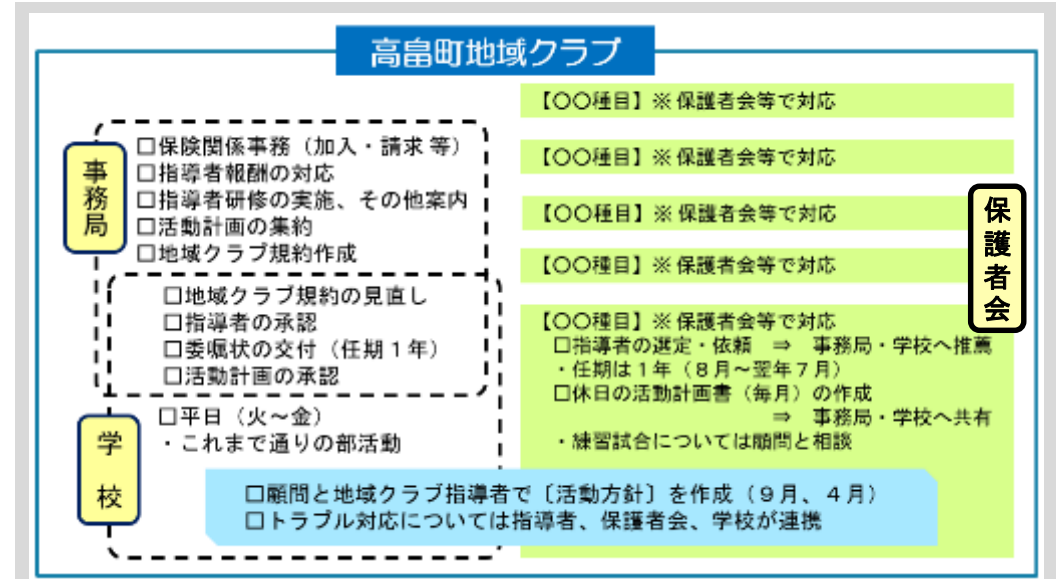
2.実証内容と成果

主な取組例

●T-S.P.E.C(高畠町地域クラブ) 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	野球・ソフトボール・ソフトテニス・バドミントン 卓球・剣道・バレーボール・サッカー (バスケットボール・吹奏楽)
運営団体名	T-S.P.E.C(高畠町地域クラブ)
期間と日数	・9月より、体制が整った種目から随時クラブでの活動スタート ・週1回程度(休日)
指導者の主な属性	保護者、スポーツ少年団指導員 中学校教員、小学校教員、学生 元教員、役場職員、競技経験者 など
活動場所	高畠中学校施設、町内体育施設
主な移動手段	スクールバス、保護者送迎、徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	なし ※中学校部活動費は各部ごと別途徴収
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり:800円/年 指導者1人あたり:1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●地域クラブ事務局担当者（教育総務課・社会教育課）

役割：地域クラブ運営全般の業務、保護者会・指導者・学校の連携を行う

●高畠中学校 各部活動顧問

役割：クラブ加入生徒への連絡 練習試合等の日程調整 指導者との連携など

●高畠中学校 各部活動保護者会

役割：指導者の選定、各クラブの運営を行う

●クラブ指導者 全種目合わせて 約 35 名

役割：各クラブの休日活動の指導を行う

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組の成果

- 令和7年度2月の段階で、8割以上のクラブで指導者の確保ができ、保護者会の立ちあげのもと、クラブ運営のスタートを切ることが出来た。
- 学校部活動との連携を密にすることで、各クラブにおける立ち上げの進捗状況に応じた柔軟な運営を行うことができ、生徒にとって大きな変化が生じることで発生する新たな負担がないように配慮することができた。
- T-SPECへの加入は任意ながら、平日の部活動に加入している生徒の9割以上が、休日のT-SPECへも加入し、継続して活動することが出来た。

今後の取組における課題

- 運営主体が教育総務課内に暫定的に存在している状態であり、他業務とかねて事務局業務を担当している状態である。今後、運営主体となる部署を明確にしていく必要がある。
- 町スポーツ協会やスポーツ少年団など、他の団体との連携をさらに強化していく。
- 地域クラブ活動検討委員会が令和6年度をもって解散されたため、その後の懸案事項について議論する機関が明確になっていない。クラブ代表者会等を効果的に実施する必要がある。
- 継続的な指導者の確保、クラブ運営に関わる財源の確保が難しい。

課題への対応方針

- 地域クラブ本部、代表者会の在り方、指導者報酬や受益者負担額、役員組織など、検討委員会で決定された事項を柔軟に変更させながら、地域展開に関わる国や県の方針に合わせて、町の体制を構築できるようにしていく。
- 今後、近隣自治体との連携や情報交換を密にし、少子化にあわせた協力体制についても検討していく必要がある。

T-S.P.E.C
ティースベック

TAKAHATA
= 高畠町

SUSTAINABLE ACTIVITIES
= 持続可能な(スポーツ文化)活動

PASS TO THE NEXT GENERATION
= 次世代につなぐ

EVERYONE'S
= みんなの

COMMUNITY
= コミュニティ = 居場所

中学校部活動を取り巻く環境は厳しさを増し、存続が難しいとまで言われています。

T-S.P.E.Cでは、子どもたちが安心して続けられる、

持続可能なスポーツ文化活動(SUSTAINABLE ACTIVITIES)を

次の世代に繋いでいくこと(PASS TO THE NEXT GENERATION)が重要だと考えます。

また、子ども、保護者、指導者、地域の人が主体的に関わり言葉を交わすことで、

対象となる世代や、時代に合った柔軟な活動を目指します。関わる全ての人が主役になれる、

みんなの居場所(EVERYONE'S COMMUNITY)になってほしい。

T-S.P.E.Cという名前には、そんな思いが込められています。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

- ・指導者決定におけるシステムのスムーズな流れの構築。
- ・高島町公式ホームページ内にT-SPEC(高島町地域クラブ)のページを設け、高島町指導者バンクを立ち上げ、随時登録可能な状態を作っている。
- ・ポスターやチラシ、町報等を利用して指導者募集の周知活動を行った。
- ・高島町役場職員へ向けての指導者募集の案内を行った。
- ・地域の小学校や高校などへ指導者の募集案内を行った。



取組の成果

- ・指導者バンクにおいて12種目43名の登録があり、その中から35名の指導者が各クラブより推薦され、学校と町本部の承認を受け指導を行っている。
- ・指導者の年齢構成【20代8名、30代3名、40代12名、50代5名、60代5名、70代2名】
- ・指導者の内訳【小学校教員・中学校教員・生徒保護者・元教員・役場職員・地域スポーツ少年団指導者・学生 など】
- ・町主催の2回の指導者研修会(チームマネジメント・トレーニング)において、全国トップレベルの講師を招聘し、多くの指導者が参加することで、指導力の向上につながった。

指導者の資の保障、資質向上に向けた取組

- ・県主催の指導者講習会への参加案内を行った。
- ・町主催の指導者研修会を2回実施し、指導者の資質向上をはかった。
- ・指導者ミーティングを開催し、各クラブの情報交換や課題の共有、解決策の検討などを行った。

平日・休日の一貫指導に関する取組

- ・「活動方針計画書」を利用することで、平日の部活動顧問と休日のクラブ指導者の指導方針の擦り合わせをはかり、共通理解の下で指導に当たっている。

高島町地域クラブ指導者バンク登録 募集要項

- ◎ 募集対象
 - ・高島町中学校の部活動指導者や、各校の設置した地域クラブ部員の指導者
- ◎ 募集要項
 - ・継続クラブ活動の指導を通して、中学校の部活動とスポーツ・文化活動に親しみ、成長を促していただく方
 - ・2024年4月1日現在で20歳以上の方(高校2年生以上の方)
 - ・任用された場合に、地域クラブ本部に指定された指導者研修会へ参加の方(指導研修で指導する事はできません)
 - ・2024年10月1日現在で高島町に在住の方
- ◎ 募集種目
 - ・高島町中学校で行われている部活動
 - 野球・ソフトボール・バドミントン(男女)・バレーボール(男女)・サッカー・空手・柔道・テニス・ソフトテニス(男女)・卓球(男女)・バドミントン(男女)・柔道・剣道・射撃・登山・競馬観戦
- ◎ 活動時間・場所
 - ・中高生の部活動指導者として活動する場合は、1日1回
 - ・1曜日・1日1回の指導は、1時間程度、各クラブの調整となります。
- ◎ 報酬 20,000円(年額)
- ◎ その他
 - ・登録いただく方、本人から希望の申し込みに応じては、登録料を徴収いたしません。
 - ・登録いただく方の個人情報は、高島町地域クラブ本部にのみ提供いたします。
 - ・研修後の公平な評価が行われるとはなりません。
 - ・詳細は発行させていただきます。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者研修の内容

研修名	第1回 T-SPEC 指導者研修会(兼トレーニング講習会)
講師	陸上自衛隊自衛隊体育学校レスリング班監督 レスリングナショナルチーム強化委員長補佐 鶴巻 幸氏 日本スポーツ協会公認アスレチックトレーナー 日本オリンピック委員会医科学強化スタッフ 太田 暁央氏
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> 演題 「育てる・鍛える力 ～指導者と中学生のためのワンランクアップトレーニング体験会～」 日時 令和7年11月29日(土) 9:00～12:00 場所 高島中学校 大体育館 参加人数 指導者15名、生徒125名
研修の様子	指導者感想
感想など	<ul style="list-style-type: none"> 怪我をしにくい、怪我をさせない指導に留意して関わっていきたくと改めて考える機会となった。 剣道における「腰を入れる」という感覚に関わって、「体幹・腹筋が抜けないように」という説明があり、生徒への指導とのつながりを実感できた。 バドミントンにおいて重要な「体幹」について触れられ、どの種目にも共通することがテーマとなっており、有意義であった。 <p>生徒感想</p> <ul style="list-style-type: none"> 野球の投打でも意識できる「腹圧」について呼吸法も踏まえて理解できた。 怪我をしにくい体を作るために大切なことや、成長期に多い怪我の特徴を知ることができ、怪我のリスクを減らしながら今後の部活に取り組めると思います。



研修名	T-SPEC 指導者ミーティング
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> 内容 T-SPECクラブ指導・運営の進捗情報説明 各クラブの活動状況の情報交換 クラブ指導における課題解決策の検討 日時 令和7年12月11日(木) 18:00～20:00 場所 高島町役場 研修室1・2
研修の様子	
※写真 都合により不記載	

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者研修の内容

研修名	第2回 T-SPEC 指導者研修会
講師	株式会社コーチFDP代表取締役 一般社団法人日本スポーツコーチング協会認定 スポーツコミュニケーションアドバイザー＆コーチ 産業能率大学 情報マネジメント学部 兼任講師 詫間 浩一 氏
研修内容	「スポーツコミュニケーション」をテーマに、指導者・選手のコミュニケーションタイプや学習有意感覚の診断を盛り込みながら、参加者同士の意見交換もとり入れた研修会となった。指導者自身と選手のタイプを知ることで、指導方法に新たな変化が生まれることが期待される内容であった。 また、中学校部活動顧問、町スポーツ少年団の指導者や保護者も参加可能として実施し、町地域クラブを中心として町内全体のスポーツ振興にも寄与する会にすることが出来た。
研修の様子	・ 生徒への関わり方を考え直すきっかけとなりました。あくまで生徒の成長を促すという視点を意識していきたい。 (部活動顧問)
感想など	・ 選手別の診断・特性を再確認し、指導方法を工夫してみた。 (T-SPEC指導者) ・ 今回のような内容を子どもと一緒に実施し、お互いに自分のタイプを知る機会を作り、今後の指導に生かしていきたい。まずは自分のタイプを理解した上で指導にあたりたい。 (スポーツ少年団指導者) ・ 自分は指導者ではありませんが、子どもとの関わりに大変役立つ内容でした。子どもとの関わるの中で活用させていただき、子どもの力を引き出せる関わりをしていきたいと思いました。 (保護者)



Q：学習優位感覚とは？

どうやって専攻で覚えていくのが効率的なのかは、人によって違う

A：聴覚系 聴いて覚える ・得意な科目 ・必要な科目 ・得意な科目 ・科目が得意	B：言語感覚系 聴いて・書いて覚える ・得意な科目 ・得意な科目 ・得意な科目 ・得意な科目
C：触覚系 やって・触って覚える ・得意な科目 ・得意な科目 ・得意な科目 ・得意な科目	D：視覚系 書いて覚える ・得意な科目 ・得意な科目 ・得意な科目 ・得意な科目

今後の取組における課題・課題への対応方針

- ・ 年々変化しているハラスメントに関する理解や、生徒・保護者対応の困難さへの対応。
- ・ 継続した地域クラブ指導者の確保。
- ・ 指導者の意見を吸い上げる指導者ミーティングを実施。
- ・ 中学校部活動顧問と指導者の連携の強化と、学校と協力した平日の部活動の指導の充実。
- ・ 他スポーツ団体との連携、小学校スポーツ少年団との交流、体験会の実施。
- ・ 指導者の研修会参加率の向上。
- ・ 既取得資格の取扱と研修会の免除、町としての資格取得補助体制などの構築。

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

昨年度までの地域クラブ検討委員会で定まった内容を受け、令和8年度、すべての種目での休日の地域クラブ活動を目指し、9月の新人チームから体制の整った種目で地域クラブとしての活動をスタートさせることができた。

9月から活動した数種目のクラブの活動状況を踏まえ、他クラブも随時活動をスタートさせ、すでに地域に活動の受け皿があった種目以外は、ほぼすべて年度内にT-SPEC（高島町地域クラブ）を立ち上げることができそうである。

実際に運営を進めていく中でこれまで気付かなかった課題や疑問が生じたが、それを一つ一つ改善するよう学校・保護者・指導者と事務局で連携し、検討を重ねている。

また、昨年度まで進められなかったスポーツ協会等の他団体との情報共有も進めることができ、今後の町全体としての本格的な地域展開へ向けて、きっかけを生み出すことが出来たと考える。

懸念されていた指導者確保も、多くの方の協力で多数の指導者に委嘱することができ、中には高島中学校卒業生も学生として指導者になるなど、町全体の良い流れが生まれ始めていると感じる。

持続可能なスポーツ・文化活動を次の世代に繋いでいくことを基本理念に、この地域クラブに関わるすべての人が主役になれる、みんなの居場所となるような体制づくりをスタートさせることができたと考えている。次年度もこの流れを継続させていきたい。

●成果の評価

今年度の成果としては、「当初の計画を概ね達成できたこと」が挙げられる。ほぼすべてのクラブで休日の地域クラブ活動をスタートできたことがその結果である。また、各種目において指導者の確保もできた。指導者ミーティングを開催する中で、指導者の視点からの課題や要望など有意義な情報を把握することができ、学校側と共有することができたと捉えている。

活動が始まった9月以降、様々な課題について解決案を考え対応してきたが、本格的に活動が始まったからこそ、今後も課題は次々と出てくるものと考えている。活動に係わる関係者で話し合い、改善策を出し合いながら柔軟に対応していきたい。

本町での地域クラブ展開の鍵は、学校・保護者会・指導者・事務局の連携であるといえる。連携が密にできているクラブほど順調な運営ができており、その好事例を共有しながら、今後も情報の共有、報告、連絡、相談を密に行えるよう、事務局として全体の運営をに尽力していきたい。

●今後に向けて

令和7年度の新人チームからスタートした活動が、令和8年度8月で1年間のサイクルを終え、次の学年へ移行することになる。保護者会における引継ぎがスムーズにいこう、事務局としても丁寧な説明や引継ぎの手順を示していく必要がある。また、指導者の任期も一旦満了となるため、継続依頼や新規指導者の発掘のため、継続した広報活動や周知活動が必要となる。

国のガイドラインや近隣自治体の動向も参考にしながら、指導者報酬の適正額、受益者負担についての検討、加入生徒数の確保、指導者の資質向上と必要資格の精査、規約の修正、より詳細なマニュアルの作成など、山積した課題を一つ一つ改善し、まずは休日の地域クラブ活動を持続できる安定したシステムを構築していきたい。その先に、平日の地域クラブ活動への道筋が見えてくると考えている。ただし、自己財源だけでの運営は非常に難しく、国や県の補助の継続は欠かせない状態である。

また、他団体との連携も強化しながら、学校教育(部活動)から社会教育・生涯スポーツ(地域クラブ)への運営主体や町全体の認識の移行についても具体策を検討していく必要があると考える。

2.実証内容と成果②

参考資料



【部活動保護者会長・外部コーチ 説明会 6月】



【第2回 指導者研修会 1月】



【第1回 指導者研修会兼トレーニング講習会 12月】



【クラブ代表者会 2月】

2.実証内容と成果③

参考資料

T-S.P.E.C
TAKAHATA
SUSTAINABLE ACTIVITIES
PASS TO THE NEXT GENERATION
EVERYONE'S
COMMUNITY

あなたの「好き」も、
子どもたちの「未来」も、
もっと煌めく。

**高島町
指導者
バンク**

令和7年度 新チーム指導者登録募集中

高島中学校の部活動地域連携に先駆け、指導者を探している方と指導者になりたい方のマッチングを目的に、高島町指導者バンクを開設します。指導者バンクでは、指導者を探している方を対象に、登録いただいた情報を公開し指導者のスムーズな選定を補助します。スポーツ文化活動を通じた子どもたちの糧めく未来のために、あなたのお力をお貸しください。指導者登録いただける方は右のQRコードをお読みください。▶▶▶

お問い合わせ先 T-S.P.E.C (高島町地域クラブ) 事務局 (教育総務課内) TEL 0238-52-3054

【T-SPEC指導者募集ポスター① 町内施設へ掲示】

T-S.P.E.C
TAKAHATA
SUSTAINABLE ACTIVITIES
PASS TO THE NEXT GENERATION
EVERYONE'S
COMMUNITY

あなたの力が必要です！

子どもたちの「未来」のために

**指導者
募集中**

令和7年度から、中学校の部活動は平日のみとなり、今までのような休日の活動は原則行われなくなります。高島町では独自のスポーツ文化活動に取り組みたい生徒を対象に、「T-SPEC (高島町地域クラブ)」を創設し、「本町」がその活動を補助する体制をとります。子どもたちの「やりたい」「チャレンジしたい」に応えられる環境を整えるために、皆様のお力を貸し下さい。なお、現在「バスケットボール」「サッカー」の指導者を特に募集しております。指導者バンク・活動内容等については、お問い合わせください。▶▶▶

指導者登録いただける方・T-SPEC (高島町地域クラブ) に属しての詳細は右のQRコードをお読みください。

お問い合わせ先：T-SPEC事務局 (高島町教育委員会 教育総務課内) TEL 0238-52-3054

【T-SPEC指導者募集ポスター② 町報へ掲載】

2.実証内容と成果④

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

地域クラブ本部(町部局 = 教育総務課・社会教育課)、高畠中学校、高畠中学校部活動保護者会、町スポーツ協会、(町スポーツ少年団、町スポーツ推進員) 等

●経過

令和5年度より検討委員会を設置し、計6回(令和5年度:3回、令和6年度:3回)の会議を開催、「高畠町地域クラブ活動 規約」を作成した。

※「高畠町地域クラブ活動 規約」: 地域クラブ本部、各地域クラブ保護者会の役割、代表者会の規定、指導者選定から決定までの流れ、指導者謝金、スポーツ安全保険等、活動に係わる項目について記載

●実施内容、工夫した点 等

休日の中学生の活動補償を大前提とし、中学校部活動との連携を密にしたクラブの立ち上げを目指し、保護者会、指導者、学校、クラブ本部等の地域で子ども達を支える体制づくりに取り組んだこと。

例) ・活動計画方針書を、平日に部活動を指導する顧問と、休日に指導する指導者、保護者会代表者と一緒に作成することで、指導に一貫性を持たせるようにしたこと。

- ・指導者の指導期間を新人チームの活動期間(9月頃～翌8月頃)としたことで、顧問が変わっても方針を継続できること。
- ・指導者が依頼した指導者を事務局と学校から委嘱することで、「生徒・保護者が指導してほしい指導者」がクラブを指導する体制をとったこと。

●経過

9月以降、体制が整った種目からクラブを立ち上げ、随時活動をスタートさせた。

令和8年2月の時点で野球・ソフトボール・卓球・剣道・男女バドミントン・男女バレーボール・男女ソフトテニス・サッカーが活動開始。吹奏楽と男女バスケットボールも年度内の立ち上げ予定。

陸上・ホッケー・柔道は既存の地域クラブにおいて活動しており、T-SPECを立ち上げていない。

●実施にあたって生じた課題

- ・冬期間の活動場所の確保
- ・各クラブの加入生徒の継続した確保
- ・スポーツ協会やスポーツ推進委員など町部局とその他団体との連携
- ・継続した財源確保と受益者負担額の検討 等

●実施内容、工夫した点 等

- ・定期的な担当者会を開催して課題の洗い出しと解決策の検討
- ・関係団体への説明会の実施や情報共有の強化
- ・町他部局との施設利用に関わる検討会の実施

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

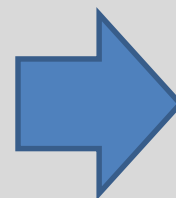
《令和8年度》

《令和9年度》

4月	5・6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
◇新入生・保護者へ説明				◇小学校6年生・保護者へ説明				◇見学会実施			
◇代表者会実施						◇代表者会実施					
◇安定した休日のクラブ活動の運営推進						◇国委託事業報告準備					
◇9月からの指導者選定			◇指導者委嘱式			◇指導者講習会を実施					
★他団体との連携強化・平日のクラブ活動に向けた課題検討											
新年度から全種目で 地域クラブ活動開始				新チーム(新体制)での クラブ活動開始				次年度への準備			

《令和8年度》

- ・新学年への運営体制のスムーズな引継ぎ
- ・開始1年経過時点でのアンケート調査実施
- ・指導者のスムーズな選定・継続・新規発掘
- ・学校（部活動顧問）との継続した連携
- ・随時、課題を収集し柔軟に対応
- ・クラブ加入生徒の確保



《令和9年度》

- ・休日の地域クラブ活動の
安定した継続実施・運営
- ・平日の地域クラブ活動開始
に向けた調整・課題収集
- ・近隣自治体との連携
- ・自己財源確保のためのプラン検討